

令和2年度 事務事業評価 外部評価

境グリーンテックパーク公園管理事務

まち整備課

- ① 公園概要
- ② 沿革
- ③ 利用状況
- ④ 事業概要
- ⑤ 課題
- ⑥ まとめ



1. 公園概要

- 施設名 境グリーンテックパーク公園
- 公園種別 都市公園（街区公園）
- 所在地 中井町境114
- 面積 1.72ha
- 設備 多目的グラウンド
（約65m×約110m）
駐車場 36台
トイレ
防火水槽
防災井戸



2. 沿革

- 平成 6年 中井町境地区土地区画整理事業による換地処分
- 平成 8年 土地区画整理組合からの施設移管
- 平成25年 都市公園の供用開始の告示
- 平成26年 都市公園の供用開始



3-1. 利用状況

一般利用

- キャッチボール
- サッカー
- 散歩

グラウンド有料利用

- H25までは無料貸出
- 利用登録団体
R1：26団体
R2：33団体
- 土日・祝日は利用制限あり
1団体あたり
3h/日かつ6h/月まで

イベント利用

- 社会福祉協議会：老人クラブ
- 町体育協会：ペタンク大会
- 町：なし

3-2. 利用料金

- 町内：540円/h
- 町外：1,080円/h

町内料金対象：中井町、小田原市、南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町の在住、在勤者が過半数いる団体

- 施設開放時間 9:00～18:00

3-3. 利用実績

年間利用実績

年度	利用人数	利用件数	利用料
令和元年度	11,254人	261件	377,080円
平成30年度	9,225人	206件	296,190円
平成29年度	8,138人	216件	318,520円
平成28年度	7,212人	230件	328,200円

3-4. 災害発生時の活用

応急仮設住宅の設置候補地

- 収容戸数：89戸
- 駐車スペース：89台
- 集会スペース：106.6㎡
- ごみ置き場：40㎡

- 中井町地域防災計画
- 応急仮設住宅の設置
⇒まち整備班（まち整備課）が実施
- 設置場所の選定
⇒災害の実情に応じ、安全な場所を選定
- 神奈川県建築物震後対策推進協議会
⇒配置計画図案を作成（H28年度）

4-1. 事業概要

日常管理

- 園内、トイレの清掃
- 消耗品の補充

草刈・剪定

- 雑草の除草、植栽剪定
- 高木伐採

修繕

- 施設修繕

その他

- 公共料金の支払い

4-2. 事業費

平成28年

1,693,047円

- 需用費 717,282円
- 役務費 2,442円
- 委託費 950,940円
- 使用料 22,383円

平成29年度

1,459,992円

- 需用費 474,385円
- 役務費 19,459円
- 委託費 933,606円
- 使用料 32,542円

平成30年度

1,298,034円

- 需用費 311,541円
- 役務費 2,709円
- 委託費 967,206円
- 使用料 16,578円

令和元年度

1,237,420円

- 需用費 295,671円
- 役務費 3,209円
- 委託費 923,144円
- 使用料 15,405円

需用費：消耗品、水道料、電気料、修繕料
役務費：廃棄物手数料、火災保険料

委託費：樹木伐採委託、草刈り委託、清掃委託
使用料：下水道使用料

4-3. 修繕履歴

修繕履歴

年度	内容
平成26年度	<ul style="list-style-type: none">木製コンビネーション遊具基礎修繕水栓交換
平成28年度	<ul style="list-style-type: none">木製コンビネーション遊具撤去工事公園内電灯交換修繕
平成29年度	<ul style="list-style-type: none">トイレ鍵修繕漏水修繕トイレ修繕



4-4. 委託費の内訳

樹木伐採・剪定作業

- 年1回
- 段階的に実施
- 見積り合わせによる業者選定

草刈り作業

- 年1～2回
- シルバー人材センターへ委託

清掃作業

- トイレ清掃：週2回
- 園内清掃：週1回
- シルバー人材センターへ委託

5. 課題

① 除草や樹木の整備



② 遊具跡地の整備



③ 収支バランス



課題①「除草や樹木の整備」

現 状

- 公園を囲む樹木が成長
- 樹木の伐採、剪定が追いついていない状況
- 公園内部が見えない
- 通行車両から公園だと認識しづらい

対 応

- 毎年継続的な樹木の伐採、剪定を実施
- 外からも園内が見通すことができる明るい公園を目指す



課題②「遊具跡地の整備」

現 状

- 木製コンビネーション遊具の撤去（H28）
- 整地後、草刈作業の定期的実施
- グラウンド側から見えない



対 応

- 樹木の伐採、剪定を最優先
⇒グラウンドを見渡せる明るい環境を整備
- 遊具の再設置⇒他公園を利用
- 災害時の活用⇒空地スペースとして維持
- 休憩スペースとして活用⇒健康遊具やベンチの設置を検討

課題③「収支バランス」

現 状

- R1収入：38万円
- R1支出：124万円
- R1収支：△86万円



対 応

- 収支プラスが絶対ではない
- 事業費の転嫁率
- 利用率の採用
- 次回見直し時に検討

利用料金設定の考え方

- ・ H26から有料化
- ・ R1に公共施設使用料の全体的見直し
⇒現状維持

- ・ 受益者負担の原則
- ・ 公平性、公正性の確保
- ・ 近隣の類似施設との均衡



統一の考え方に基づき算定

原価 × 受益者負担割合 ÷ 年間利用可能時間 = 基準時間単価

原価 = 維持管理費 + 人件費相当額

受益者負担割合：0%、50%、100%

⇒施設の性質（市場的or非市場的、必需的or選択的）で分類



受益者負担割合：50%

（理論上）利用率100%達成で原価の50%の利用料収入

6. まとめ

- 「グリーンテクなかい」内にある緑豊かな公園
- 自由にボール遊びができる公園
- 災害時に活用しやすい広大スペースのある公園

町民の安全と
豊かな生活を
支える公園



- 樹木の伐採・剪定や除草作業を最優先
- 外からも明るく開けた公園、気持ちよく利用できる公園

ご清聴ありがとうございました

